

1999/1
Vol. 54



水色いちばん—滋賀です

テクノネットワーク

contents

センター活用法 みなさんのお役に立ちます、まずお電話をお知らせ ISO研究会募集

発行

滋賀県工業技術総合センター
Industrial Research Center of Shiga Prefecture

(財)滋賀県工業技術振興協会
Shiga Industrial Technology Association

年頭所感



工業技術総合センター
所長 山下博志

明けましておめでとうございます。

皆様には新年をご健勝で迎えられましたことお慶び申し上げます。さて昨年末、製造業の基礎であるプレス金型や梱包用段ボール等の業種では景気の底打ち感がささやかれました。国が年間予算に匹敵するほどの補正予算を組んで強引に経済回復を策した訳ですが、そろそろ補正の舵が効き始めたとも考えられます。底打ち感が何とぞ正夢であって欲しいと思います。

他方、当センターとしても企業支援の一層の強化策として今年から二つの施設・設備を立ち上げます。一つは集積活性化法に係わるもので、電波暗室とレンタルラボを併設した企業化支援棟の立ち上げです。電波暗室は公称20GHz、3m法によるCEマーキング適合規格であり、証明行為こそ行わないものの、これを開放することで県下の多数の電気・電子機器メーカーの製品開発に向けて強力な支援を行います。併設されるレンタルラボについては、センターの背景を成す550余点の開放機器および電波暗室が手近にあるという観点から、入居企業にとっては単なる借り部屋に止まらない大きなメリットがあります。勿論、装置の奥には20名の技術者からなるノウハウの集積があり、大学教授による特別技術相談制度も利用できます。

他の一つは国の経済対策の一環として導入された薄膜・表面

処理技術に係わる7点の支援装置です。「ものづくり試作開発支援センター」整備事業として「滋賀ファインセラミックスフォーラム:滋賀FCF」の協力を頂き提案したのですが、その利用についてはフォーラム会員だけでなく、広く県下の企業にも使って頂く予定です。ともすると分析・評価装置に偏りがちなセンターの機器整備状況の中で、徐々に「ものづくり」を志向した装置が設置されました。

繰り返しになりますが、レンタルラボの運営においてセンターは従来の考え方を多少変えざるを得ないところが出てきます。企業支援というセンターの根幹は何ら変わりませんが、全ての企業に広く公平にという訳にはいかなくなります。企業との一般的な接触以上に入居中の企業とは深い関わりが生じます。ある瞬間を捉えると特定企業との付き合いになりますが、いずれ入居企業は循環しますので長い目で見れば公平性は確保されるはずですが、むしろ滋賀県を発信源とする新産業を興すためには、外からの技術相談や設備使用に応じるだけの待ちの姿勢でなく、これからは入居企業と積極的に手を組み共に開発に苦む姿勢でないと新しい物は期待できません。共同開発を通して、入居企業のみならずセンター職員にとってもベンチャー・スピリットが醸成されることを願って止みません。失敗を恐れない活気あふれるレンタルラボにしたいと思います。最後に今年こそは全面的な景気回復の年になりますよう皆様と共に祈ります。

センターを活用するには

みなさんのお役に立ちます まずお電話を ...

県内で工業技術に現在携わっている方、将来携わろうとされている方、工業技術で知りたいこと、助けてほしいこと、分析・測定をしたい・してもらいたい、など技術的内容はとりあえず工業技術総合センターにTEL(077-558-1500)してください。センターで対応できないときは、最適な機関をご紹介します。

助けてほしい

製品に
トラブルが
発生した

ユーザーから
クレームがきた

工程の見直し

新製品の
開発をしたい

品質管理

環境ISO

知りたい

技術的なことで
分からない言葉や
内容に出くわした

こんなことを
してくれる
会社はないか

~についての
本や雑誌はないか

~に詳しい専門家や
大学の先生を
紹介してほしい

補助金について
知りたい

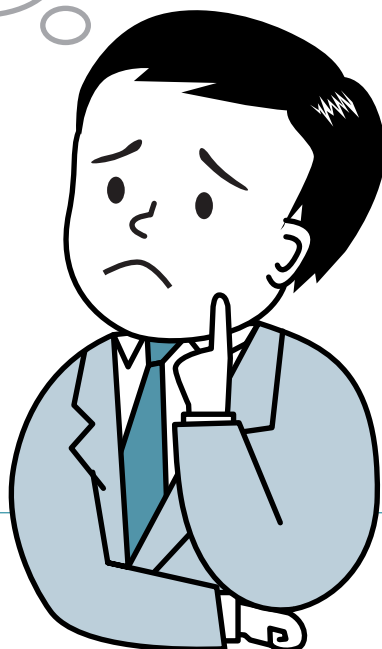
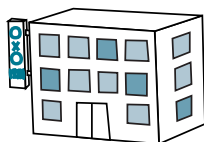
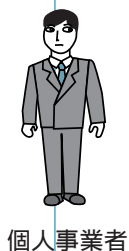
したい、 してほしい

製品、会社の
ロゴマークなどの
デザインをしたい

~の特許に
ついて調べたい

~の試験・分析を
したい、してほしい

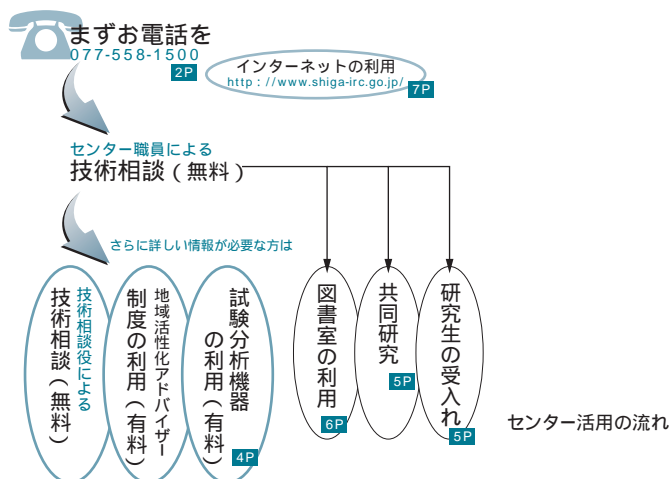
従業員の
技術教育をしたい



困った時は
まず電話



077-558-1500



技術相談

技術上の問題解決を応援します

技術相談は電話、来所、FAX等により受け付けます。相談内容によって、設備使用、依頼試験、自己試験を行ったり、相談役による技術相談、アドバイザーによる指導などを行うこともあります。また、他機関の紹介もしています。

対象分野

電子情報	: 電気計測、一般計測、品質保証、設計技術、生産技術、ソフト、ハード	有機材料	: 有機分析、無機分析、化学特性、特性評価、生産加工、環境公害、成分分析、微生物、加工技術、成分分析、微生物、加工技術、保存性、物性、安全性、環境公害
機械システム	: 精密計測、一般計測、センシング、評価技術、設計構造、生産、加工、省力自動、騒音振動	デザイン	: マーチャンダイズ、インダストリアル、インテリア、グラフィック、パッケージ、スペース、クラフト
無機材料	: 計測技術、環境特性、力学特性、化学特性、設計技術、加工技術		

技術相談指導事業

日進月歩のエレクトロニクス、バイオなど先進分野における企業の技術開発力向上のため、各分野の専門の先生を招き、新技術の展望や研究・開発および問題解決など高度な技術問題について、直接相談に応じています。相談内容、日時の調整を行い、センター2Fの技術相談室で直接相談していただきます。

地域活性化アドバイザー制度

新しい製品や技術の開発などで、独自に解決することが困難な技術的諸問題を解決するため、当センター（県）では、豊富な知識と経験を持つ地域活性化アドバイザーを派遣しています。

指導を受けられる企業に費用の一部（アドバイザーの報酬の3分の1）を負担していただきます。

指導事例

製品開発に係る設備の合理化	突き合わせ溶接の歪防止
商品企画・試作・生産・販路開拓における問題点	油圧押出機の改良および騒音対策
生産工程の省力化・省人化	臭気問題とその対応
TQCの進め方	熱処理技術および生産管理
単品製造に係る設計作業の標準化	機能性プラスチックの製品開発
真空タンクの設計技術	食品用フィルムの剥離性と密封性
冷却効率の高いファンの設計	充填機の無菌化技術
溶射技術について教えて欲しい	食品製造の品質向上

研究生受入れ

「研究生受入れ制度」をご活用下さい

中小企業が生産技術の改善、製品の品質向上、新製品の開発などに取り組む場合、必要な研究設備や研究者といった研究機能の不足は大きな阻害要因となっています。当センターは、研究開発、研究交流を通じて行う地域企業への技術移転の一環として、研究生受け入れを実施し、地域技術の向上を図っています。

対象：県内の中小製造業、県内に事業所のある企業など

費用：研究に必要な材料費など

期間：1ヵ月以上1年以内（必要な場合は期間延長可能）

センターへ問合せ
（研究テーマ、研究計画などについて御相談下さい。）
受入れ申請
検討、研究課題・指導担当職員の決定
研究計画に沿って研究の実施
成果発表会、研究報告書の提出など

共同研究

地域の知的資源を活用した共同研究の検討を！

当センターでは、中小企業の技術課題について、業界ニーズに基づいて有用かつ重要な課題を取り上げ開発研究を行い、研究会や技術相談・指導などを通して企業に普及するとともに、企業と当センター、さらに大学も加わった産官、産学官での共同研究を行い、成果を上げています。

特に、滋賀県内では、この数年、理工系・デザイン系の大学が相次いで開学しており、その知的資源を有効に活用しているため、地域の企業・大学と連携した共同研究を積極的に推進しています。

共同研究の実施方法

企業、大学、工業技術総合センターの人材、技術、設備、資金等を相互に分担、協力して課題解決に当たろうとするのが共同研究です。

共同研究の形態は性質上、多様ですので、共同研究の課題、内容および分担、実施場所、実施期間、費用の分担等について整理し、一度当センターにご相談下さい。

産学官共同研究の実施例

金属とダイヤモンドの接合技術
プリント基板検査治具の自動設計技術
電波吸収材の開発
コンピュータシミュレーションの電動機設計への応用
食品用ケーシングロボットの開発（箱詰めロボット）
超音波式非接触身長計の開発



金属とダイヤモンドの接合技術

図書室の利用

専門文献・資料を整備した 図書室をご活用下さい

センターの図書室および資料室には、工学関係蔵書10,000冊余り、工業規格（JIS全部門）、一般科学技術雑誌・学会誌など100種類とそのバックナンバーなどを整備し、一般開放しています。

閲覧および貸出は無料です。（複写は有料です。）

図書の検索・閲覧は？

図書類は、NDC分類により、開架式で収蔵していますので、必要な図書を自由に探すことができます。

また、係員が相談に応じ、センターコンピュータの図書管理システムにより、読みたい図書の検索も即座にできます。閲覧されるときは、閲覧・複写申込書に記入してください。

図書の貸出は？

一部の蔵書、雑誌、規格などを除く図書の貸出を行っています。貸出できる図書は一回につき5冊まで、貸出期間は2週間以内です。

貸出を希望されるときは、係員に申し出のうえ、貸出票に記入してください。よく利用する方には、貸出カードを作製しますので申し出ください。



貸出カード

ご利用、お待ちしております。

問合せ先 （財）滋賀県工業技術振興協会
〒520-3004 栗太郡栗東町上砥山23ㄥ（工業技術振興会館内）
TEL 077-558-1530 FAX 077-558-3048

インターネット

インターネットから利用できる 情報サービス

1.HomePage

<http://www.shiga-irc.go.jp/>



2.設備機器検索

用途・分野での検索が可能です。検索結果には主な仕様が表示されます。工業技術総合センターの機器だけでなく、信楽窯業技術試験場・東北部工業技術センターの機器も同時に検索することが可能です。



3.セミナー・研修のお知らせ

当センターで行なわれるセミナーや研修の情報をいち早くお知らせいたします。



4.センター図書室の蔵書検索

図書のタイトル・著者名・出版社などの文字列検索が可能です。



工業技術総合センターISO研究会募集

本研究会はISO14001の認証を取得した当工業技術総合センターの環境マネジメントシステムの構築とISO14001の認証取得のノウハウを用いて、県内企業の環境マネジメントシステムの構築やISO14001の認証取得を支援する研究会です。

具体的には、

- 1 ISO研究会例会:月1回程度開催の各企業間の連絡会
- 2 個別指導:具体的な環境マネジメントシステムの構築指導
- 3 セミナー:ISO14001規格の解説、各要求事項への対応方法などのセミナー
- 4 相談会:環境法規専門家、認証機関の担当者による相談会

参加条件:

- 1 ISO14001の認証を2000年末までに取得する予定の企業であること。
- 2 環境関連法規制を遵守できること。
- 3 環境マネジメントシステムの構築担当者が置けること。
- 4 月1回のISO研究会(例会)に参加できること。

募集企業:

業種は問いませんが、この研究会は企業の事業のPRの場ではありませんので、ISO14001の認証取得を目的とされる企業を募集します。

募集企業数は10社程度とします。

参加申し込み:

右の申し込み書に必要事項を記入のうえお申し込みください。参加の可否は申込書提出後に、ヒアリング調査を行い決定します。(コピーしてお使いください。)

費用:

当所の指導事業の一環であり無料ですが、一部資料、書籍の購入などについてはご負担いただく場合もあります。

参加申し込み期限:

平成11年2月26日(金)

ISO研究会参加申込書

滋賀県工業技術総合センターISO研究会に参加したいので申し込みます。

滋賀県工業技術総合センターあて 担当:前川 (FAX:077-558-1373)

企業情報

企業名	
業種	
代表者	

参加者

担当部署	(ISO14001構築を担当する部署)
担当者役職・氏名	(ISO14001構築を担当する方)
連絡先	住所(〒 -)
	TEL
	FAX
備考	

記事訂正のお知らせ

前号のテクノネットワーク(1988/11 Vol.53)で紹介しました「平成9年度新規導入機器の紹介(3ページ目)の中で一部誤りがありましたので、お詫びするとともに訂正いたします。

誤:ラマン分光システム(国庫補助機器)

正:ラマン分光システム(日本自転車振興会補助機器)

テクノネットワーク Vol.54

平成11年1月11日発行

ご意見・ご要望などございましたら、工業技術総合センター(管理課)河村まで、お気軽にお寄せ下さい。工業技術総合センターのホームページを是非、ご覧ください。(http://www.shiga-irc.go.jp/)

滋賀県工業技術総合センター

520-3004 栗太郡栗東町上砥山232
TEL 077-558-1500 FAX 077-558-1373 http://www.shiga-irc.go.jp/

信楽窯業技術試験場

529-1804 甲賀郡信楽町長野498
TEL 0748-82-1155 FAX 0748-82-1156

(財)滋賀県工業技術振興協会

520-3004 栗太郡栗東町上砥山232(工業技術振興会館内)
TEL 077-558-1530 FAX 077-558-3048

(社)発明協会滋賀県支部

520-3004 栗太郡栗東町上砥山232(工業技術振興会館内)
TEL 077-558-4040 FAX 077-558-3887